

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社ルネサンス

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 唐木 康正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 兼財務本部長 (氏名) 中川 克夫

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	27,239	3.0	602	8.0	503	△8.4	64	△45.4
21年3月期第3四半期	26,457	—	558	—	550	—	118	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	3.03	—
21年3月期第3四半期	5.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,177	8,469	33.6	396.15
21年3月期	24,516	8,489	34.6	397.12

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,469百万円 21年3月期 8,489百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	4.0	850	6.2	750	2.9	200	10.0	9.35

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	21,379,000株	21年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	148株	21年3月期	148株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	21,378,852株	21年3月期第3四半期	20,749,392株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、詳細につきましては、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

平成 22 年 3 月期第 3 四半期の業績

(百万円未満切捨て)

(1) 経営成績 (会計期間) (平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 3 四半期	9,144	△0.6	272	△26.8	241	△33.5	45	△68.0
21 年 3 月期第 3 四半期	9,200	—	371	—	363	—	143	—

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	2.14	—
21 年 3 月期第 3 四半期	6.69	—

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第3四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）におけるわが国経済は、景気後退の底打ち感が出てきたものの、企業業績は依然として低水準で推移しており、それに伴う雇用情勢の悪化や個人消費の低迷により、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、人々の健康づくりに対する社会的役割への期待はあるものの、消費者の節約志向の高まりや、同業他社との競争激化等により商品の低価格化が進み、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社は、地域及び顧客特性に応じた個店マーケティングを基本戦略とし、アウトドアフィットネス会員やウォークラン会員といった新たな顧客層の開拓を目指した商品を開発し、10月より導入いたしました。また、適切な設備投資を実施してクラブ環境の整備と魅力向上を図り、会員の定着を進めております。

当第3四半期累計期間における直営クラブの新規出店につきましては、6月に豊中（大阪府豊中市）、11月に経堂（東京都世田谷区）、12月にアリオ札幌（札幌市東区）の3クラブを出店いたしました。なお、アリオ札幌は、充実した温浴施設にトレーニングジムやスタジオを融合させた新しいスタイルの施設となっております。一方、契約期間の満了等により、5月末に上大岡（横浜市南区）、6月末に小名浜（福島県いわき市）、12月末に小岩（東京都葛飾区）の3クラブを閉店いたしました。この結果、当第3四半期末のクラブ数は、直営97クラブ、業務受託6クラブ、フランチャイズ1クラブの計104クラブ（12月末の閉店クラブを含む）となりました。

このほか、新業態施設として、11月にスタジオ単体型フィットネス施設「Demi RENAISSANCE（ドゥミ ルネサンス）五反田」（東京都品川区）の1店舗を出店いたしました。

既存クラブにつきましては、効果的な販売促進活動による入会者の獲得に努めたことに加え、新規入会者の初期定着が進み、退会率が低減したことにより、下表のとおり在籍会員数が前年を上回って推移いたしました。なお、月会費の低廉メニュー投入等により会費単価が低下したため、売上高は、前年同期比△1.5%となりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移（単位：％）

	当第1四半期			当第2四半期			当第3四半期			9ヶ月累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
前年同月比	+0.7	+1.4	+2.6	+3.3	+3.9	+4.0	+3.7	+2.8	+3.1	+2.8

既存クラブへの主な設備投資としましては、5月に石神井公園（東京都練馬区）、幕張（千葉市花見川区）、水戸（茨城県水戸市）、8月に土気あすみが丘（千葉市緑区）、仙台泉中央（仙台市泉区）の5クラブにおいて、内外装・設備等の改装及び更新を実施しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は272億39百万円（前年同期比3.0%増）となりました。利益面では、前期の新規出店クラブや合併クラブが順調に推移したこと等により、営業利益は6億2百万円（同8.0%増）となりました。なお、経常利益はリース会計適用による営業外費用の増加等によ

り5億3百万円(同8.4%減)となり、四半期純利益は、退店及び不採算クラブの減損損失や、クラブリニューアル及びブランド統一に伴う特別損失の計上等により、64百万円(同45.4%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ6億60百万円増加し、251億77百万円となりました。これは主に、新規出店に伴い建物が増加したことにより、有形固定資産合計が4億96百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ6億81百万円増加し、167億7百万円となりました。これは主に、設備投資等の資金需要により、長期借入金が増加したことによるものです。

なお、前事業年度に締結したシンジケート方式によるタームローン契約のうち、未実行であった長期借入金7億円を実行し、短期借入金を返済しております。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ20百万円減少し、84億69百万円となりました。これは四半期純利益64百万円の計上と前事業年度末配当金85百万円の取崩しによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ64百万円減少し、12億25百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間9億94百万円(前年同期16億99百万円)

営業活動により得られた資金は、9億94百万円(前年同期比41.5%減)となりました。これは主に、税引前四半期純利益2億4百万円、減価償却費12億38百万円(同0.5%増)、法人税等の支払額3億89百万円、前受金の減少額2億69百万円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間△15億34百万円(前年同期△12億96百万円)

投資活動に使用した資金は、15億34百万円(前年同期比18.4%増)となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出13億75百万円(同65.4%増)、敷金及び保証金の差入による支出2億49百万円(同64.1%減)によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間 4 億 76 百万円（前年同期△ 1 億 28 百万円）

財務活動により得られた資金は、4 億 76 百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入 22 億円、長期借入金の返済による支出 11 億 33 百万円（前年同期比 85.1%増）、短期借入金純減少額 4 億 50 百万円、配当金の支払額 85 百万円（同 19.6%減）によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成 21 年 5 月 11 日の公表数値から変更はいたしておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

詳細は、12 ページ【簡便な会計処理】をご覧ください。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,023	1,253,032
売掛金	659,286	668,545
商品	526,048	443,294
その他	1,504,017	1,381,294
貸倒引当金	△19,000	△15,016
流動資産合計	3,867,376	3,731,150
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,570,199	5,266,691
その他（純額）	4,359,293	4,166,385
有形固定資産合計	※1 9,929,493	※1 9,433,076
無形固定資産	779,808	782,739
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,296,127	8,037,086
その他	2,367,711	2,563,464
貸倒引当金	△63,360	△30,960
投資その他の資産合計	10,600,478	10,569,591
固定資産合計	21,309,780	20,785,407
資産合計	25,177,156	24,516,558
負債の部		
流動負債		
支払手形	※2 336,624	166,017
買掛金	148,164	162,950
短期借入金	1,400,000	1,850,000
未払法人税等	116,186	245,844
前受金	542,334	812,252
賞与引当金	214,273	404,830
役員賞与引当金	—	18,774
その他	※2 4,568,297	3,600,326
流動負債合計	7,325,880	7,260,995
固定負債		
長期借入金	6,328,000	5,640,000
退職給付引当金	538,646	528,094
その他	2,515,471	2,597,581
固定負債合計	9,382,117	8,765,675
負債合計	16,707,998	16,026,671

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	3,501,527	3,522,350
自己株式	△79	△79
株主資本合計	8,468,801	8,489,625
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	356	262
評価・換算差額等合計	356	262
純資産合計	8,469,158	8,489,887
負債純資産合計	25,177,156	24,516,558

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	26,457,636	27,239,867
売上原価	24,708,150	25,432,678
売上総利益	1,749,486	1,807,188
販売費及び一般管理費	※ 1,190,989	※ 1,204,208
営業利益	558,496	602,979
営業外収益		
受取利息	23,404	22,788
受取手数料	14,439	25,719
受取保険金	4,038	—
その他	32,993	24,036
営業外収益合計	74,875	72,545
営業外費用		
支払利息	80,580	144,900
その他	2,469	26,720
営業外費用合計	83,050	171,621
経常利益	550,322	503,903
特別利益		
固定資産売却益	558	519
貸倒引当金戻入額	1,998	1,299
特別利益合計	2,557	1,819
特別損失		
固定資産売却損	365	—
固定資産除却損	24,307	57,474
減損損失	130,105	126,023
店舗閉鎖損失	48,573	34,129
貸倒引当金繰入額	—	50,000
その他	56,779	33,672
特別損失合計	260,130	301,299
税引前四半期純利益	292,749	204,423
法人税、住民税及び事業税	142,636	46,412
過年度法人税等	—	12,835
法人税等還付税額	△20,275	—
法人税等調整額	51,927	80,483
法人税等合計	174,287	139,731
四半期純利益	118,461	64,692

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	9,200,612	9,144,660
売上原価	8,411,735	8,469,739
売上総利益	788,877	674,920
販売費及び一般管理費	※ 417,142	※ 402,626
営業利益	371,734	272,293
営業外収益		
受取利息	8,956	7,478
受取手数料	4,396	9,418
その他	7,610	9,695
営業外収益合計	20,962	26,592
営業外費用		
支払利息	28,242	48,759
その他	1,068	8,460
営業外費用合計	29,311	57,219
経常利益	363,386	241,666
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,030	3,175
特別利益合計	4,030	3,175
特別損失		
固定資産除却損	4,742	24,704
減損損失	62,105	66,302
店舗閉鎖損失	4,065	28,453
その他	22,862	17,484
特別損失合計	93,775	136,943
税引前四半期純利益	273,641	107,897
法人税、住民税及び事業税	65,823	△6,048
法人税等調整額	64,753	68,173
法人税等合計	130,576	62,124
四半期純利益	143,065	45,773

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	292,749	204,423
減価償却費	1,232,464	1,238,816
固定資産除却損	24,307	57,474
減損損失	130,105	126,023
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,925	10,552
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,001	36,384
賞与引当金の増減額(△は減少)	△100,911	△190,557
受取利息及び受取配当金	△23,491	△22,865
支払利息	80,580	144,900
売上債権の増減額(△は増加)	193,783	9,259
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,991	△88,027
仕入債務の増減額(△は減少)	150,421	155,820
前受金の増減額(△は減少)	△142,227	△269,917
その他	△11,688	100,347
小計	1,879,161	1,512,635
利息及び配当金の受取額	3,571	429
利息の支払額	△74,637	△128,733
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△108,195	△389,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,699,901	994,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	9,912	—
有形固定資産の取得による支出	△831,801	△1,375,927
無形固定資産の取得による支出	△49,938	△85,576
敷金及び保証金の差入による支出	△695,295	△249,682
敷金及び保証金の回収による収入	215,809	115,453
その他	54,631	61,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,296,681	△1,534,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110,000	△450,000
長期借入れによる収入	700,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△612,000	△1,133,000
リース債務の返済による支出	—	△55,683
配当金の支払額	△106,026	△85,220
その他	△23	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,049	476,095
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	275,170	△64,014
現金及び現金同等物の期首残高	290,913	1,289,156
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	360,894	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 926,978	※ 1,225,142

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1	一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2	棚卸資産の評価方法 当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。
3	繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 11,011,237千円 ※2 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期間末残高に含まれております。 支払手形 54,844千円 設備関係支払手形 76,238千円 (流動負債その他)	※1 有形固定資産の減価償却累計額 10,485,283千円 _____

(四半期損益計算書関係)

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 283,769千円 賞与引当金繰入額 53,461千円	※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 337,389千円 賞与引当金繰入額 53,529千円

第3四半期会計期間

前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 105,632千円 賞与引当金繰入額 18,061千円	※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 123,174千円 賞与引当金繰入額 17,893千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の当第3四半期累計期間末残高と当第3四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) 現金及び預金 897,317千円 預け金(流動資産その他) 29,661千円 現金及び現金同等物 926,978千円	※ 現金及び現金同等物の当第3四半期累計期間末残高と当第3四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) 現金及び預金 1,197,023千円 預け金(流動資産その他) 28,118千円 現金及び現金同等物 1,225,142千円

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	21,379,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	148

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月25日 取締役会	普通株式	85,515	4.00	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っておりますが、当四半期会計期間末における当該取引残高は、前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年12月31日)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)		前事業年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	396.15円	1株当たり純資産額	397.12円

2 1株当たり四半期純利益

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	5.71円	1株当たり四半期純利益	3.03円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	118,461	64,692
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	118,461	64,692
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,749	21,378

第3四半期会計期間

前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	6.69円	1株当たり四半期純利益	2.14円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	143,065	45,773
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	143,065	45,773
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378	21,378

(重要な後発事象)

該当事項はありません。